

今後の取組（ロードマップ）

	R3年度 2021年	R4年度 2022年	R5年度 2023年	R6年度 2024年	R7年度 2025年	R8年度 2026年	将来目標 2030年
市の流れ		多文化共生のまち 推進条例制定	次期多文化共生推進計画				日本人も外国人も心の国際交流ができる静岡の実現 〔(仮称)多文化共生のまち推進条例のビジョン・工程表〕より引用
		多様な個性を持つ市民が互いに尊重し、共生することができる社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の理念					
多文化共生教育	多文化共生教育 教材作成 教員研修	プレスクール事業 開始					困難を抱える子どもが、 ○個別最適な指導を受けることにより、自己の学びを深めることができる ○学校や地域の中で孤立せず安心して生活を送ることができる
	多言語交流会開催 多国籍児童生徒及び保護者のコミュニティの在り方研究	清水三保第二小学校 日本語指導教室開設					
		個別最適な日本語指導プログラムの検討					
共生教育の充実	【連携】 (関係各部署) ・障害福祉企画課 ・子ども未来局 ・国際交流課 等 (民間団体) ・医療機関 ・国際交流協会 等	共生教育における推進体制の検討	スタッフの協働による支援・指導の充実 ■個別最適な支援 ・日本語指導・特別支援のノウハウの共有 ■ICT活用プログラムの開発 ■研修プログラムの開発 ■日本語指導・特別支援合同研修会開催 ■実践研究 検証・改善 ・多様なニーズへの対応				
			共生社会の実現に向けた市民の拠点づくり ■円滑にサービスを提供するための共生コーディネーターの配置 ■効果的な施策の企画 ■学校における共生教育の推進 ■地域における共生教育の推進 ■市民ボランティアが参画・活躍する拠点づくり				
特別支援教育	自閉症情緒学級への非常勤講師配置 (4学年以上7人以上の学級)	自閉症情緒学級への非常勤講師配置 (複数学年7人以上の学級)					
	医療的ケア児の受入れに関するモデル事業 (インクルーシブ教育システム構築推進事業)						